

令和4年度 「生徒による授業評価（第1回）」報告書

調査研究セクション

1. 「生徒による授業評価」について

（1）実施の目的

生徒の確かな学力を育成するため「生徒による授業評価」を行うことにより、教員の指導力の向上や授業の改善を図るとともに、生徒自らが学習への取組を見つめ直す機会とする。

（2）「生徒による授業評価」を踏まえた授業改善

授業評価の集計・分析結果を踏まえ、学校全体及び各教科・科目等の課題を把握し、その解決に向けて、研究授業や校内研修を実施し、授業改善に取り組む。

（3）結果の公表

授業評価の集計・分析結果及び、その課題を踏まえた授業改善の実施結果について、生徒・保護者・学校運営協議会等に公表する。

2. 「生徒による授業評価」の実施時期と方法、分析 等

（1）実施時期

年2回アンケート方式で実施する。1回目は夏季休業前に実施し、当該授業の課題等の状況を把握した。2回目は冬季休業前に実施し、課題の改善状況について把握する。

（2）調査内容（別紙1参照）

各学校共通の内容として、2つの大項目、7つの共通小項目を設け、「4 かなり当てはまる」、「3 ほぼ当てはまる」、「2 あまり当てはまらない」、「1 ほとんど当てはまらない」の4段階の評価を行った。他、本校定時制独自に「自己評価」の大項目に3つの小項目を設けて評価を行った。

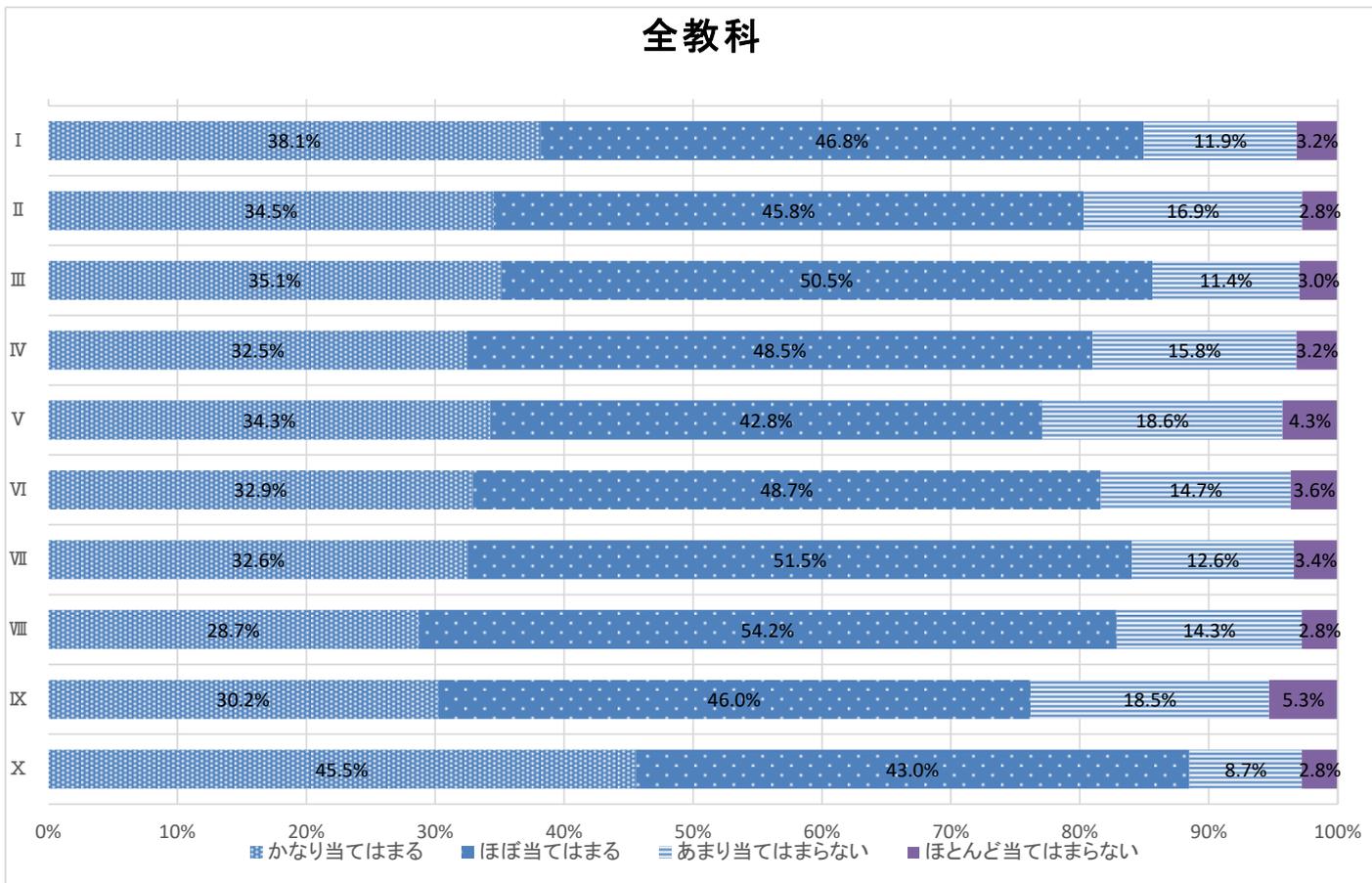
（3）分析の方法

4段階評価「4 かなり当てはまる」、「3 ほぼ当てはまる」、「2 あまり当てはまらない」、「1 ほとんど当てはまらない」のうち、調査結果の傾向を顕著に示す「4 かなり当てはまる」に焦点を当てて分析を行った。

4 調査の結果

(1) 全教科について

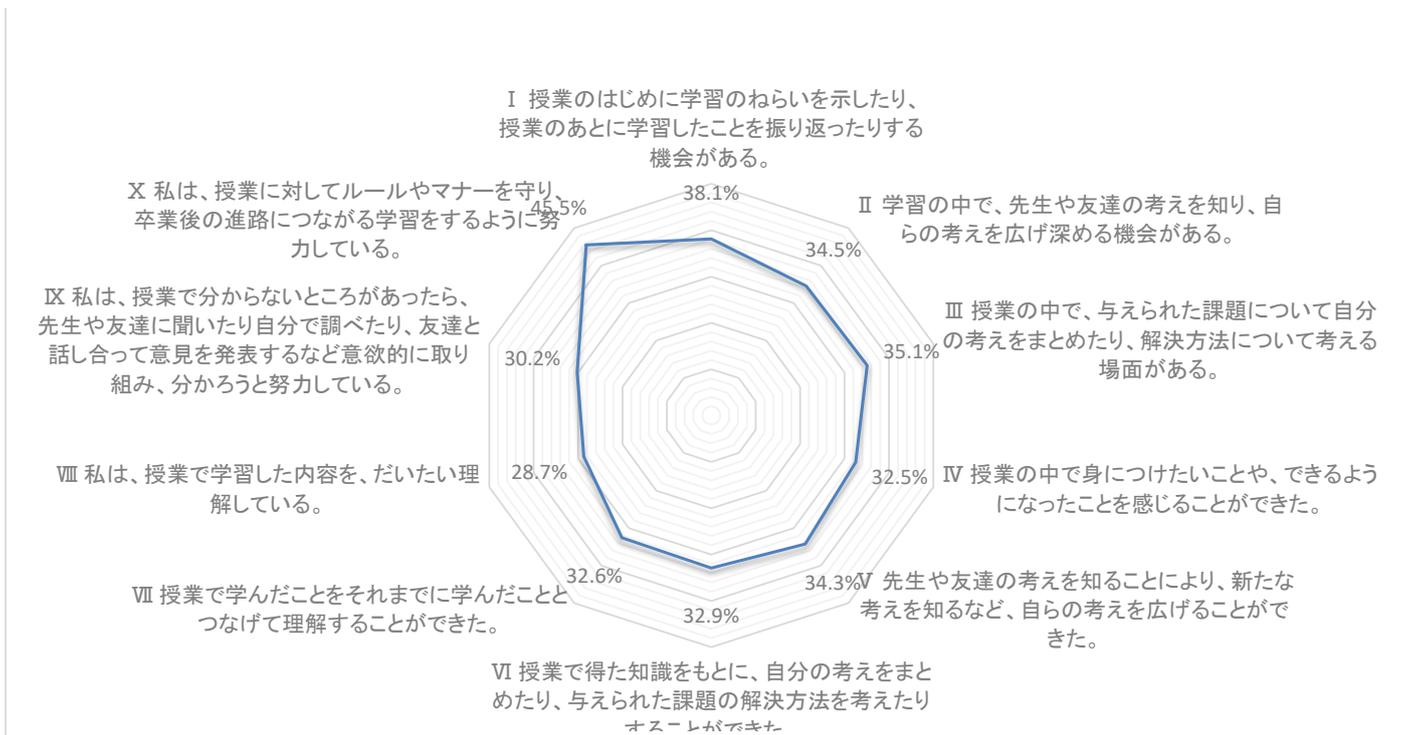
○全教科の共通小項目に対する4段階の評価の割合は、次の通りである。



※縦軸の数字 I ~ X は共通小項目の数字。項目内容は第 2 図を参照 ※ %は小数第 2 位を四捨五入

第 1 図 全教科の共通小項目集計

○全教科の共通小項目の評価の結果のうち、「4 かなり当てはまる」と回答した割合をレーダーチャートで表した。



第 2 図 全教科の共通小項目ごとの評価結果「4 かなり当てはまる」の割合